

# 令和2年度事業報告書

## I 会務報告

### 1. 会員の状況について

	正会員	準会員	合計
今期末会員数	2,846人	0人	2,846人
前年度会員数	2,851人	0人	2,851人
増減	△5人	0人	△5人

支部別会員数は、添付諸表資料1のとおり

### 2. 賛助会員について

#### (1) 団体等

北海道農業共済組合連合会	500,000円
北海道農業協同組合中央会	100,000円
ホクレン農業協同組合連合会	350,000円
(一社) ジェネティクス北海道	100,000円
(株) 高橋動物病院	100,000円
酪畜支援センター	100,000円
(株) 札幌夜間動物病院	200,000円
(有) なかとんべつ動物病院	50,000円
(株) TYL	50,000円

#### (2) 個人

なし

### 3. 名誉会員の推薦について

令和3年4月22日開催の理事会において、各支部長から推薦のあった下記14人の会員(令和3年度に80歳となり、本会在籍20年以上の会員)を名誉会員とすることとし、令和3年度の地区獣医師会総会において名誉会員証を授与することとした。

杉村 順(石狩)、川原昭雄(石狩)、北野 功(石狩)、岩間勝廣(石狩)、永井 浩(石狩)、南部栄一(上川)、渡辺克己(後志)、中川義則(日高)、藤井和仁(十勝)、山田純三(十勝)、大星健治(十勝)、池広靖和(十勝)、竹内健児(釧路)、大嶋卓也(オホーツク)

### 4. 役職員の異動について

#### (1) 役員

異動なし

#### (2) 職員

異動なし

## 5. 日本獣医師会特別委員会委員、職域別部会委員会委員（本会分）

### (1) 特別委員会

One Health 推進特別委員会	会長	高橋 徹
AMR 対策推進検討委員会（副委員長）	副会長	田村 豊
総合獣医療・専門獣医療提供体制整備検討委員会		廉澤 剛

### (2) 職域別部会委員会

#### ◎常設委員会

学術・教育・研究委員会	理事	木田克弥
産業動物臨床・家畜共済委員会（委員長）	副会長	西川治彦
産業動物臨床・家畜共済委員会	理事	岡本真平
小動物臨床委員会	理事	高良広之
家畜衛生・公衆衛生委員会	理事	小田茂樹
動物福祉・愛護委員会		黒川明美（札幌市）
総務委員会	専務理事	菅野一敏

#### ◎個別委員会

獣医師生涯研修事業運営委員会	荏和宏明（北海道大学）
獣医師生涯研修事業運営委員会	滝口満喜（北海道大学）
野生動物対策検討委員会	武田忠義（北海道）
女性獣医師活躍推進委員会	岩村 舞（NOSAI ホーク）

## 6. 代議員会・理事会の開催について

### (1) 令和2年度（第8回）定時代議員会

日 時：令和2年6月17日（水）

会 場：北海道獣医師会館

#### 議 案

議案第1号	令和元年度事業報告について（報告事項）
議案第2号	令和元年度決算について（承認事項）
議案第3号	令和2年度事業計画及び収支予算について（報告事項）
議案第4号	令和2年度賛助会費について（承認事項）
議案第5号	会費規程の改正について（承認事項）
議案第6号	令和2年度役員報酬について（承認事項）

### (2) 理事会

**【第1回】書面による決議日** 令和2年5月25日（月）

#### <提案事項>

1. 令和元年度事業報告及び決算の承認について
2. 令和元年度決算監査結果について
3. 令和2年度賛助会員について
4. 令和2年度役員報酬について
5. 令和2年度代議員会における書面等による議決権の行使について

## 【第2回】

日 時：令和2年6月17日（水）

会 場：ホテルヤマチ

### <報告事項>

1. 第1回理事会決議（書面）事項について
2. 職務執行状況報告について
3. 北海道獣医師会・日本獣医師会関係会議について
4. 傷病鳥獣等保護受託業務について

### <議決事項>

1. 動物救護活動基金管理規程の制定について
2. 災害時動物救護対策委員会規約の制定について
3. 支部事務局長の変更について
4. 部会委員・会誌編集委員・学会幹事の変更について

### <協議事項>

1. 令和2年度（第8回）定時代議員会の開催について
2. 令和2年度大会・地区学会の中止について
3. 役員選任規程について
4. 会館建設について
5. 今後の行事予定について
6. その他

## 【第3回】

日 時：令和2年12月15日（火）

会 場：北海道獣医師会館（ウェブ併合開催）

### <報告事項>

1. 職務執行状況報告について
2. 業務執行状況報告について
3. 中間監査の結果について
4. 令和2年度狂犬病予防注射事故の発生状況について

### <議決事項>

1. 災害時動物救護対策委員の承認について
2. 令和3年度大会・地区学会の開催日と開催場所について
3. 令和2年度役員報酬の執行について

### <協議事項>

1. 本会特別委員会（組織・会館）開催事項について
2. 諸規程の制定等について
3. 令和3年度事業計画（案）について
4. 令和3年度部会等の委員改選について
5. 令和3年度の行事予定について
6. その他

## 【第4回】

日 時：令和3年3月17日（水）

会 場：北海道獣医師会館（ウェブ併合開催）

### <報告事項>

1. 業務執行状況報告について
2. 諸会議等開催状況について

### <議決事項>

1. 令和3年度事業計画（案）について
2. 令和3年度収支予算（案）について
3. 諸規程の制定等について
4. 令和3年度地区学会役員について
5. 役員候補者推薦管理委員会の設置と役員選任日程について
6. ポーチルーフドレン配管改修工事について

### <協議事項>

1. 令和3年度（第9回）定時代議員会の開催について
2. 会費規程の改正について
3. 令和3年度会員名簿発刊の可否について
4. ダニ媒介性脳炎について
5. 会館建設について
6. その他

### (3) 監 査

令和元年度決算監査	令和2年5月12日（火）	北海道獣医師会館
令和2年度中間監査	令和2年11月25日（水）	〃

### (4) 三役会議

第1回	令和2年10月28日（水）	北海道獣医師会館
第2回	令和3年3月12日（金）	〃

### (5) 事務局長会議（ウェブ開催）令和3年3月9日（火）

### (6) 特別委員会

第11回会館建設計画検討特別委員会（ウェブ併合開催）

令和2年11月20日（火） 北海道獣医師会館

第12回会館建設計画検討特別委員会 令和3年3月12日（金） 〃

組織基盤強化特別委員会 令和2年11月20日（火） 〃

### (7) 学会関係

獣医学術地区学会長会議	令和3年3月29日（月）	北海道獣医師会館
-------------	--------------	----------

## 7. 弁護士との顧問契約について

札幌市内で法律事務所を開設している橋本智弁護士（橋本智法律事務所 Tel：011-272-1056）と顧問契約を締結し、会員の法律的な事案に相談対応できる体制を継続している。

## II 事業報告

### 公益目的事業1：獣医学術の振興・普及並びに人材の育成を図る事業

獣医学及び獣医療の最新の研究成果、優れた診療実績等を共有し、獣医師全体の技術向上を図り、それらの成果を社会に還元する。

#### 1. 獣医学術北海道地区学会・北海道獣医師大会の開催

##### (1) 獣医学術北海道地区学会の開催

①令和2年度獣医学術北海道地区学会は9月3・4日、函館市において開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

##### (2) 第71回北海道獣医師大会の開催

①獣医学術北海道地区学会と同様に中止した。

#### 2. 北海道獣医師会雑誌の発行について

獣医学術の振興・普及並びに諸行事の案内、活動報告等の情報提供の媒体として北海道獣医師会雑誌（北獣会誌）を毎月定期に発刊した。（第64巻第4号～12号及び第65巻第1号～第3号）また、北獣会誌編集委員会は中止した。

#### 3. 国際交流について

本会は相互の獣医学術の向上と交流を深め、互いに発展することを目的として、韓国の慶尚北道獣医師会と姉妹提携を結んでいる。現在、海外悪性伝染病である口蹄疫やアフリカ豚熱の発生もあり招聘を延期している。

#### 4. 技術向上に係る講習会、研修会の開催について

本部主催で例年行っている小動物講習会・獣医公衆衛生講習会・管理獣医師講習会・野生鳥獣救護技術講習会は、全て新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。支部主催により、産業動物・小動物ブロック講習会、新技術講習会は一部で実施した。開催状況は添付諸表資料3のとおり。

### 公益目的事業2：人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する事業

人と動物の共通感染症の予防等、公衆衛生や家畜の伝染病予防等の家畜衛生に関する事業並びに動物の愛護・福祉の増進・野生動物の保護に関する事業を推進し、人と動物が共生する豊かで健全な社会の発展に貢献する。

#### 1. 狂犬病予防注射事業の推進について

(1) 狂犬病予防注射事業は本会の主体となる公益目的事業として、各支部実施班の協力のもとで実施した。その注射頭数は166,965頭（前年比4,398頭減）で、減少傾向が続いている。支部別注射頭数は添付諸表資料4のとおり

狂犬病予防注射実施率向上対策の一環として、北海道・札幌市・動物愛護団体等と連携し、札幌地下歩行空間で狂犬病予防注射啓発イベントを計画したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止した。

- (2) 狂犬病予防注射事業に係る事故について、ワクチンによる副反応事故についても、狂犬病予防注射事故対策要領に沿って補償することとしている。令和2年度は犬の事故は死亡2頭・回復29件、人身事故1件の報告があった。犬の事故の多くはアナフィラキシー反応だが、犬の飼養者個々にチラシ等で注意喚起する等、きめ細かい対応がなされ、それぞれ支部実施班で適切に対応された。なお、死亡例は注射直後の発症であり、アナフィラキシーショックが疑われるが、剖検出来なかったことから確定には至っていない。
- (3) 現状の狂犬病ワクチンは1バイアル10ドース分であることから、バイアル開封後の日数経過等により廃棄を余儀なくされる。ワクチンメーカーに対し、1バイアル1ドース製品の開発、供給を要請している。

## 2. 動物愛護の推進について

- (1) 北海道から委託を受け実施している野生傷病鳥獣保護業務について、会員動物病院等の協力を得て52病院、199頭羽（前年比39頭羽減）の傷病鳥獣の診療、救護費用を補填した。
- (2) 同じく北海道から委託を受け実施している所有者の判明しない犬猫等の診療、保護委託業務では43病院、261頭（前年比24頭減）の保護・診療費用の一部を補填した。  
札幌市（札幌市小動物獣医師会が受託）、函館市、旭川市においても、それぞれの市からの受託により同事業を実施し、札幌市10病院30頭、函館市2病院2頭、旭川市2病院28頭の保護治療を行った。

## 3. 公開講座等の開催について

- (1) 北海道医師会との学術連携シンポジウム  
高病原性鳥インフルエンザをはじめ多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や食品の安全性確保に関する意識が高まる中、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められている。  
このような状況を受け、学術協力を推進する旨の協定書締結に基づき、4月12日（日）「死に至るダニ媒介性感染症」をテーマに連携シンポジウム等を計画したが中止した。
- (2) 野生動物部会の協力を得て、野生傷病鳥獣の診療技術向上のため技術講習会を札幌市（円山動物園）、釧路市において例年開催しているが中止した。
- (3) 動物愛護や獣医師の仕事に対する理解を深めるための小学生等を対象にした「どうぶつのお医者さん体験教室」は中止した。

## 収益事業1：不動産賃貸事業

### 1. 所有地の貸付け

本会が発寒に所有する土地（670m<sup>2</sup>）を駐車場用地として（株）コラボに貸付けた。

## 2. 所有建物の貸付け

北海道獣医師会館の事務室スペースは北海道家畜畜産物衛生指導協会、さっぽろ獣医師会、札幌市小動物獣医師会、日本馬事協会北海道事務所に貸付けするとともに、会議室は各種会議、研修会等に貸付けを行った。

## 収益事業2：共同購入事業

会員が業務上必要とする各種様式印刷物や診断薬を一括購入し、添付諸表資料7のとおり斡旋販売した。

## その他事業1：福利厚生事業

「福利厚生規程」に基づき、病氣見舞金、弔慰金及び生花をそれぞれ添付諸表資料5のとおり贈呈した。

## その他事業2：受託事業

### 1. 狂犬病予防注射済票交付事業

道内173市町村からの委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、市町村に代わり、狂犬病予防注射を受けた犬の飼養者に対し、狂犬病予防注射済票の交付を行った。飼養者が居住していない市町村で狂犬病予防注射を受けた場合、注射実施者、責任者や各支部事務局の協力により、狂犬病予防注射済証を当該自治体に送付する事業を実施した。

### 2. 犬の登録及び鑑札交付事業

道内6市からの委託を受け、狂犬病予防注射に従事する会員が、狂犬病予防注射実施時に道内6市に代わり犬飼養者の便宜のため犬の登録受付及び鑑札の交付を行った。

### 3. 動物愛護週間における啓発活動

札幌市小動物獣医師会・江別市小動物開業獣医師会・胆振獣医師会、その他各地区獣医師会で振興局との共催による動物愛護事業等の行事、日本獣医師会が主催する動物感謝デーin Japan “World Veterinary Day”は、全て中止となった。

### 4. 海鳥等保護対策事業

天売島の海鳥保護のため、羽幌町等からの委託を受け、不妊去勢手術、馴化、譲渡等で野良猫を減少させる事業を実施し、環境省・道庁・羽幌町・本会・北海DOぶつネット等による「人と海鳥と猫が共生する天売島」連絡協議会（会長：高橋 徹北海道獣医師会会長）が関係機関とともに活動し、海鳥は増加している。



## 【会務運営報告】

### (1) 組織基盤強化

道内 13 支部、職域及び専門部会と連携し、事業の推進を進めるとともに、会員の加入促進と組織基盤強化を図るため組織基盤強化特別委員会を開催し、道内関係機関との連携を深め今後も情報交換をしていくこととした。

### (2) 北海道獣医師会館建設に向けた財政基盤強化

北海道獣医師会館の老朽化と耐震性の欠如を指摘されており、今後 10 年を目途として建替えに向けて会員の理解を深めるとともに、資金調達計画等の検討を進めてきた。北海道獣医師会としては、会員に北海道獣医師会館の必要性を説き、最重要課題としている。

### (3) ダニ媒介性脳炎対策事業

ダニ媒介性脳炎は人獣共通感染症として問題となっている。マダニ咬着犬からの感染が疑われており、道内の小動物病院の協力を得て、抗体及びウイルス分離調査を行った。7 振興局・24 病院からの 188 検体から 1 例のダニを確認した。今後もさらに広く小動物病院に検体の採材を依頼し、本病の浸潤状況の把握に努めていく。

### (4) 女性獣医師の就業環境の整備と就業促進

近い将来、獣医師の半数を女性が占めることになり、女性獣医師がより一層活躍できる環境づくりが極めて重要となっている。日本獣医師会と連携し、女性獣医師がより活躍できるための検討を進めている。

### (5) 産業動物及び公務員獣医師の確保

安定的で高度な獣医療の提供、食の安全確保の推進には、産業動物及び公務員獣医師の確保が必要であり、より一層の処遇改善等を関係機関に求めるため、関係団体等に協力要請している。

### (6) 広報活動の推進

情報化社会に対応し、本会ホームページ等による広報活動の充実強化が求められている。会員への情報伝達の充実を図るとともに、一般市民を対象とした本会の活動紹介、動物病院の紹介等の充実強化に努めた。

### (7) 獣医師倫理の高揚

獣医師の高度専門職として社会的信頼を確保し、「獣医師倫理綱領」等の普及啓発に努めた。動物診療現場におけるインフォームドコンセントを徹底し、飼い主との信頼関係を築き、「小動物医療指針」及び「産業動物医療指針」に沿った診療に務められるよう普及啓発した。また、動物診療に係り、問題提起にも対処した。